教育委員会事務局
学校施設課
直通 055-934-4806

危機管理課
直通 055-934-4758

～安全・安心な環境づくりを目指して～
市立小中学校の体育館への空調設備導入を加速！

近年の気候変動による高温化で熱中症のリスクが高まっています。

このことから、児童・生徒の安全確保と避難所に指定された体育館の環境改善を図るため、沼津市教育委員会では、市立小中学校の体育館への空調設備の導入について検討を加速しており、令和１３年度までに全ての体育館への導入を目指しています。

早期に整備を進めるため、令和８年度沼津市議会１１月定例会に、空調設備の整備に伴う設計業務委託経費の補正予算を議案として提出します。

■空調設備整備概要

１　整備学校数　全３３校（うち指定避難所　２８校）

- 小学校　１７校、中学校　１３校（中等部含む。）、小中一貫学校　　３校

※ 学校再編に伴い閉校となる体育館は除く。

２　空調設備の仕様等

- 空調設備の仕様については、対象地域の状況を踏まえ、本設計業務において検討する。
- 全ての体育館に断熱対策を講じる。

３　整備目標

- 文科省が目標として示している、令和１３年度末までに全ての体育館への空調設備導入を目指す。
- 整備については、指定避難所や風水害避難所としての位置づけのほか、津波被害の影響の有無、想定避難者数の多寡などを総合的に判断し、年６～７校の整備を目指す。

※　学校再編や老朽化に伴う校舎の改修が必要な学校については、整備時期を調整する。

■１１月議会定例会補正予算議案の概要

体育館空調設備について、令和９年度の整備着手を目指し、設計業務委託経費の補正予算議案を提出し、沼津市議会１１月定例会にてご審議いただく。

１　設計業務委託予定校　６校（静浦小中、大岡南小、大岡小、原中、第三中、集明小）
２　設計業務委託事業費　５,１００万円

＜文部科学省資料（抜粋）＞

公立小中学校の体育館等への空調設置目標の前倒しについて

○熱中症対策に関する関係閣僚会議（令和8年7月31日）

高市総理）

松本文部科学大臣においては、**学校体育館等のエアコン設置率について、「２０３５年までに１００%」の目標を前倒しできるよう、**林総務大臣とも連携し、自治体への働きかけを強化するなど、**取組を加速して下さい**。

○第13 回令和８年熊本地震非常災害対策本部会議及び
第３回令和8 年８月千葉豪雨に関する関係閣僚会議（令和8年8月27日）

松本文科大臣）

○ ７月31 日の熱中症対策に関する関係閣僚会議における高市総理の指示を受けて、令和17 年度までに100%とされている避難所となる公立小中学校の体育館等の空調の設置目標の前倒しを検討してまいりました。

○ 文部科学省としては、**令和9 年度からの5 年間**で、
・未整備自治体に対する**整備予定の調査及び伴走支援**
・総務省との連携による**市町村長への直接的な働きかけ**
・長期休み以外の工事事例や、費用対効果のよい工事事例など**好事例の周知**
等の**加速化策を講じることにより、令和13 年度中に設置率を100%とすることを新たな目標**にしたいと考えております。

高市総理）

○ 先ほど、松本文部科学大臣からも、報告がありましたとおり、先般、私から指示をしました、**避難所となる全国の学校体育館などのエアコン設置率**について、「令和17年度中に100%」という**目標を、「令和13 年度中に100%」に前倒すこととします**。松本大臣は、関係大臣とも連携し、取組を加速して下さい。

4

空調整備・断熱対策事例（抜粋版）

事例１）中学校（令和６年度整備）
延床面積：２，９０９㎡、空調面積：２，０１２㎡
空調容量（冷房）：９５W/㎡（１９２ｋW）
受変電改修：なし、停電時対応：なし


天井吊型空調機


天井吊型空調機

事例２）中学校（令和４年度整備）
延床面積：２，１９１㎡、空調面積：８１３㎡
空調容量（冷房）：１６５W/㎡（１３４ｋW）
受変電改修：なし、停電時対応：一部あり


天井吊型空調機


室外機(全3台)

断熱・遮熱対策事例（抜粋版②）

事例１）屋根･カバー工法（令和６年度整備）
延床面積：１，１６２㎡、空調面積：８８７㎡
工事内容：カバー工法による断熱性能の屋根材の設置
（施工面積：１，２１９㎡）


施工前


施工後

事例２）屋根･断熱材（令和５年度整備）
延床面積：７０２㎡、空調面積：３７７㎡
工事内容：断熱材（50mm）＋天井材（25ミリ）設置
（施工面積：４１０㎡）


施工前


施工後